

明るい漁村

JF
JFしまね

漁業協同組合

JFしまね

第163号

発行日：平成19年1月1日

編集兼発行人：漁業協同組合JFしまね

題字：澄田島根県知事

印刷所：松村印刷株式会社

新年の挨拶.....	2
漁業協同組合JFしまね～1年を振り返って.....	3～4
日韓漁業問題懇談会開催.....	5
第27回島根県海の子絵画展.....	6
表彰.....	7
島根県知事へ隠岐松葉ガ二贈呈.....	7
浜の声～森田晟彦氏（仁摩支所温泉津出張所）.....	8
浜の出来事.....	9
事業部だより.....	9～10
7月参議院選挙に丸一芳訓氏を推薦決定.....	11
ひとこと随想.....	12



迎春

美保関町 / photo by 古川 誠

新年の挨拶



漁業協同組合JFしまね
代表理事会長

岸 宏

新年明けましておめでとございます。
年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

漁業協同組合JFしまねが誕生いたしました1年が経過しましたが、初年度は新生漁協が組合員の信頼を得られるよう組織に魂を入れるべく役員一丸となって努力して参りました。

昨年を顧みますと、厳しい漁業情勢に加えて、燃油価格の異常な高騰は漁業経営を逼迫させる大きな重圧となっており、昨年9月に、正組合員4,010名の連名による県内漁業者の総意として「緊急要請書」を島根県知事、島根県議会等関係先に提出し、燃油高騰に

対する具体的な施策の早期実施について強く求めました。また昨年引き続き大型クラゲが大量来襲し、定置網や底曳網、旋網などに被害が発生いたしました。それを受けて、本組合では「経営体質強化緊急総合対策基金」を活用し、旋網漁業において陸揚げした大型クラゲの陸上処理や、定置網漁業における洋上での駆除作業を実施するなど漁業者支援を行いました。一方、昨年の9月には鳥取県漁協と業務全般についての事業提携書を締結し、更なる漁協経営体質の強化と効率的な事業推進を図りました。これにより、境港支所を中心に業務の効率化を図り、組合員の負託に応える体制を整えるこ

とができました。

7月には北朝鮮によるミサイル発射実験が突如行われました。幸いにも漁船に対する被害はなかったのですが、漁業関係者に不安を与えるとともに、危機管理体制を問われる出来事でありました。ほとぼり冷めやらぬ9月には、同じく北朝鮮による核実験の実施に伴ない北朝鮮海域を漁場としていたベニズワイガニかご漁船3隻の入漁が取り消され、漁場を失った漁業者の救済対策について緊急要望しました。

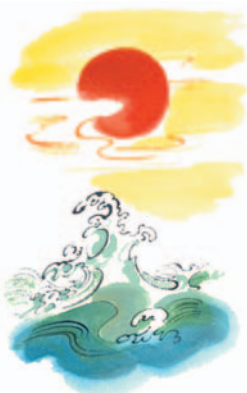
また韓国との漁業問題については、暫定水域における漁業秩序の確立、そして日本の排他的経済水域内における韓国漁船の違反操業、また竹島の領土問題などについて兵庫、鳥取、島根の三県の知事並びに水産関係代表者らと自民党議員による意見交換会を11月に行い、問題の早期解決に向け強く要望しました。

景気は徐々に回復しつつありますが、本県漁業は、まだ明るい兆しが見えない中、JFしまね役員と組合員が一丸となり、一人は万人のために、万人は一人のため

に」を基本理念に事業を展開すれば必ず明るい展望が開けることと確信しているところであります。

今年は、事業全般にわたる拡充と経営の健全化を図り社会的信頼を得るとともに、組合員の負託に応えるため、JFしまね組織一丸となって最大の努力を致す所存ですので、格別なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

組合員の皆様の一層のご繁栄とご健勝、そして今年一年が海上安全、豊漁の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



漁業協同組合JFしまね 1年を振り返って

漁業協同組合JFしまねは、発足して1年を迎えた。この節目にあたり、現在、浜の第一線で活躍する、組合員に、発足1年目を振り返っていただいた。

(有)興祥水産 代表取締役

中井 秀夫 氏

(恵曇支所、小型イカ釣漁業)



JFしまねは、組合員の手取りを多くすること、生産コストの削減を合言葉に発足し、1年を迎える。私は、漁業とは食料を安定的に供給する使命ある職業であると共に、私たち漁業者には、この使命ある産業を次代へ引き継ぐ責任があり、漁業を魅力ある産業に変革していかなければならないと思っている。そのため、JFには漁業者と一体となって現状を抜本的に見直し、やりたい漁業ができる環境を整えるとともに、資金援助やリスク分担など強力な支援をお願いしたい。

まずは、合併のメリットを

どう追及し、そのことにより、漁業者にどのようなメリットが生まれるのか明確にしてもらいたい。JFしまねの活動に大きく期待しています。

(有)塩津定置

岡 重幸 氏

(平田支所、定置網漁業)



近年、漁業不振が懸念される中、大型クラゲによる被害

と冬の時化や時期的な魚の減少により、不本意にも一昨年から冬季に休漁し経費節減に当たりました。

昨年、漁業協同組合JFしまねが誕生し、予てからの願いであった手数料の統一化によって、負担は大きく軽減されました。しかし、地元の関連する施設の充実や流通

面の整備など時間を要する課題や対策の検討、深刻化する大型クラゲの被害や魚種の変化など将来への不安も募ります。

今後とも、漁協と漁師が一丸となつて、様々な問題に取り組みながら、魚価対策を最優先に取り組んでいくことが重要であると思います。また、漁師の高齢化と後継者減少の不安もあります。漁協皆様の力では是非とも若い後継者を育て、一人でも多くの若者に漁業について関心を持てる機会を与え、漁業の場へ送り出してもらいたいと願います。

越堂 功 氏

(仁摩支所、一本釣漁業)



平成18年1月1日に「JFしまね」として船出した昨

年、世界的な原油高騰により、漁業者においては、経費がかさむ大変な一年であったことと思います。

しかし、大型合併をしていなければ、今迄どおり、各単協で運営していれば、経費をはじめ色々な面において、さらに個人負担が増えていたのではないかと危惧されるところです。

さて執行部の方々をお願いしたいことがあります。様々な諸問題を抱えておられ、忙しいことと思いますが、今後とも地区の組合員等と膝をつき合わせて話す機会を持つていただき、現場で働く組合員の声を漁協や地域の水産業に反映していただきたいと思います。

(有)福宝水産 漁労長

松田 茂 氏

(浜田支所、沖合底曳網漁業)

結論から言えば、生産者として

合併のメリットは今のところないのではないかと。燃油の高騰により経費が増し、歩合制の我々にとって相当量の水揚げが強いられない。しかし、合併により、他港船籍の船が頻繁に入港し、陸送によつて多くの魚が運び込まれ、魚種によつては単価が下がり、我々の漁獲物も安値が続いている。また、操業海域においては競合が生じ、時には漁区の違反など迷惑を被ることもある。

今後、浜田漁港の水揚量が増えた場合、現在の商人で捌けるのか、需要と供給のバランスがとれるのか、そして魚価は上がるのか、現時点で生産者としては、合併しなかった方が良かったのではないかと感じている。

藤野 武幸 氏

(西郷支所、一本釣漁業)



漁業協同組合JFしまねが誕生して1年、1人の漁業

者として、正直、あまり実感がありません。テレビや新聞で「JFしまね」の名前を見た時に、ああ合併したんだなあと思うくらいです。

しかし、JFしまねという、より大きくなった器へ物(魚)をいっぱいになる様にと願っていました。が、晩秋の時化続きや魚の減少は自らの努力でどうにもならず、また燃油代の高騰、魚価の安値等により厳しい経営が強いられましたが、決して良い年と言えませんでした。

今年一年、何よりも先ず豊漁となつて、漁業者をはじめ島根県全体の水産業が繁栄していくことを願っています。

平木 操 氏

(浦郷支所、中型まき網漁業)



「漁業協同組合JFしまね」が誕生した記念すべき平成18年1月1日は、我々中型まき

網漁業を営む者にとっては長く漁獲量の減少、恒常的な魚価安さらに追討ちをかけるような燃油の高騰など非常に厳しい環境の中でスタートした新しい年の始まりであった。昨年を振り返つた時に燃油の高騰については、燃油対策資金等の対応がなされたものの船団での操業を行う「まき網漁業」においては、急場をしのごう一時的なものとしか感じる事が出来なかった。

その他に経営を圧迫する諸問題のなかでも漁業生産者の最大のテーマである魚価の問題では、全国最大規模の漁協となつた「JFしまね」が魚価形成の上で、全国の市場への影響力を持ちJF系列の販売ネットワークの構築に取組み、新たな販路の開拓、拡大を目指す事により、「まき網漁業」の経営安定化につながるのではないかと思慮し、期待をしているところである。



本県20漁協が平成18年1月1日に合併し、「漁業協同組合JFしまね」が発足し1年が経過しました。その間、合併前に約束していた魚箱の一括仕入れによる価格の値下げ、燃油価格については、供給体系の総体的見直しによる値下げを行ないました。しかし乍ら、一面、世界的な石油動向を反映し、燃油価格は、その値下げを上回る異常な高騰が続き極力、値上幅の縮小に努めるべく対応に苦慮した年でありました。また、受託販売手数料についても、ほとんどの地区において下げることができ、漁業者の皆様の負担軽減に大きく寄与できました。今後は、本組合組織の合理化等により職員の人数が減少した分、役員と組合員共々汗をかき、経営基盤をしっかりと確立させ、真に組合員の為になる事業を展開すると共に、共通仲買制と自己買参権を有効利用することにより、魚価の向上と組合員の所得向上に努めます。組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(漁業協同組合JFしまね)

山陰漁業対策自民党国会議員連盟

日韓漁業問題懇談会開催

日韓漁業問題懇談会 山陰漁業対策自民党国会議員連盟



兵庫・鳥取・島根3県

日韓暫定水域対策協議会と3県の知事、山陰漁業対策自民党国会議員連盟による日韓漁業問題懇談会を10月25日に

東京・永田町の自民党本部で開催した。懇談会は代表世話人である景山俊太郎参議院議員の進行により行われ、はじめに3県協議会の岸会長が暫定水域における漁業秩序と資源管理の確立について、政府間協議で仕組みを決めるよう強く求めた。また北朝鮮の核実験に対する国策として漁場を締め出される3隻のベニズ

ワイガニかご漁船と、境港における販売・流通・加工といった陸上機能の面も踏まえて、漁業者の総合的な救済策について求めた。

他の漁業代表者からも暫定水域の荒廃、わが国EEZ内における韓国漁船による不法操業に対する取締りの強化などが求められた。

水産庁、外務省、海上保安庁からの明確な回答は無かったものの、青木幹雄参

議院議員会長から暫定水域対策について「民間協議を切り上げ、期限を切って政府間協議でやるべきだ。」また、北朝鮮問題については「国策で行ったことなので、生じる問題は国が考えるとの基本姿勢で行く。」と発言があり、細田博



之衆議院議員から取締対策について「まずは徹底的な取り締まり体制により違法操業している韓国漁船を何隻か拿捕し、強く警告すべきだ。」との発言が出るなど成果のある懇談会となった。

第27回

島根県海の子絵画展

海を愛し、漁業に対する理解と夢を持ってもらいたいという願いで開催された、島根県海の子絵画展が今年で27回目を迎え、県内35の小学校から130点の作品が寄せられた。平成18年10月6日に島根県水産会館（JFしまね）で行われた審査の結果、最優秀の島根県知事賞に、低学年の部から、石倉一彰君（東出雲町立揖屋小学校1年）、中学年の部から、田中里奈さん（出雲市立荒木小学校3年）、高学年の部から、小澤木ノ実さん（松江市立美保関小学校5年）3名の作品が選ばれた。

審査委員長の石野 眞島根大学名誉教授から、「海で働く人、祖父や両親と友人と海とのかわり、魚や港や船などを美しい色調で、あたたかく気持ちを込めて描いていた。また、しっかりと対象をとらえ、描く時の感動が伝わってくる作品が多かった。海の恵みを理解し、感謝する気持ちをこれからも表現して欲しい。」との講評があった。なお、島根県知事賞を受賞した3名の作品は、2月に開催される第29回全国海の子絵画展へ出品される。（その他受賞者は、以下のとおり。）

第27回島根県海の子絵画展入賞者

◆島根県知事賞



低学年の部 題名「いかがいたよ」
石倉 一彰 君
東出雲町立揖屋小学校 1年

中学年の部 題名「漁船を見たよ」
田中 里奈 さん
出雲市立荒木小学校 3年

高学年の部 題名「弁天さん」
小澤 木ノ実 さん
松江市立美保関小学校 5年

- ◆山陰中央新報社賞
浅野 成海 君 浜田市立岡見小学校 1年
小笠原裕太 君 松江市立中島小学校 4年
引野 敏朗 君 松江市立竹矢小学校 5年
- ◆農林中央金庫賞
山根永梨乃 さん 東出雲町立揖屋小学校 2年

- 杉谷 結麻 さん 出雲市立鷺鷥小学校 3年
生田 翔洋 君 松江市立美保関小学校 6年
- ◆漁業協同組合 J F しまね会長賞
宮永 安崇 君 松江市立中央小学校 2年
杉谷 拓海 君 出雲市立鷺鷥小学校 2年

- 石倉 史子 さん 東出雲町立揖屋小学校 3年
山根由記子 さん 東出雲町立揖屋小学校 4年
多久和佳奈 さん 出雲市立国富小学校 5年
曾田 真以 さん 出雲市立荒木小学校 6年

- ◆佳作
福光 莉子 さん 東出雲町立出雲郷小学校 1年
安藤 和哉 君 東出雲町立出雲郷小学校 1年
原 昂輝 君 出雲市立湖陵小学校 1年
杉谷 咲 さん 出雲市立鷺鷥小学校 1年
鷹田愛咲美 さん 浜田市立佐野小学校 1年
村松 海 君 松江市立大野小学校 2年

- 岸本 留奈 さん 東出雲町立出雲郷小学校 3年
浅野 有紀 君 浜田市立岡見小学校 3年
蒲生 翔太 君 出雲市立大社小学校 3年
大田 和希 君 隠岐の島町立五箇小学校 4年
仁宮 笑菜 さん 松江市立美保関小学校 4年
石倉 龍弥 君 松江市立中島小学校 4年

- 渡部 康平 君 出雲市立荒木小学校 5年
浅野 祐美 さん 出雲市立国富小学校 5年
掛本 彩乃 さん 浜田市立国府小学校 5年
安部 遥佳 さん 安来市立十神小学校 5年
平野 冴佳 さん 浜田市立石見小学校 5年
矢田菜保子 さん 出雲市立荒木小学校 6年

この度、ご協力いただいた各小学校の皆様にご礼申し上げますとともに、これからも海を愛し、魚や漁業への思いを寄せた、明るく楽しい作品を期待しています。

表彰

この度、受賞の栄に浴された方々におきまして、これまでの功績に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



【全国漁協運動功労者表彰】

隠岐島漁業協同組合連合会
代表理事会長
濱田 利長氏



【大日本水産会水産功績者表彰】

(有)事代丸取締役兼漁労長
牧野 勝治氏



【島根県各種功労者表彰】

女性の地域活動の部
元 島根県漁協女性部連合会副会長
安達美智子氏



【島根県各種功労者表彰】

農林水産の部
漁業協同組合JFしまね理事
山本千代則氏



【島根県各種功労者表彰】

農林水産の部
(有)菊栄漁業代表取締役
湊 好男氏



澄田知事（左端）に隠岐松葉ガニを贈呈する漁業関係者（左から、(有)事代丸牧野正義氏、(有)菊栄漁業 湊 好男氏、(有)清幸丸 岩本和美氏）

島根県知事へ 隠岐松葉ガニ贈呈

去る11月29日、JFしまね岸会長をはじめ、漁業関係者らが県庁を訪れ、澄田知事へ隠岐松葉ガニ

をプレゼントしPRした。

JFしまねでは、隠岐島周辺海域でかご漁業により漁獲された一定の規格にあるズワイガニを「隠岐松葉ガニ」として、生産者・産地が記された証明タグを付け販売し、消費者に「島根県隠岐産」という認識を一層深めてもらうためにブランド化へ向けた取り組みを実施している。

さっそく試食した澄田知事は、「こりゃ絶品だ。冬の味覚ナンバーワン。初物を頂き大いに長生きできる。」と舌鼓を打ち「島根の味として定着させるようPRしていきたい」と話した。

漁の声

第2回

もりた あきひろ
森田 晟彦さん 58歳・仁摩支所温泉津出張所

世界遺産候補に上がっている石見銀山遺跡において、当時、採掘した銀の輸出港でもあった温泉津漁港。奥に細長い天然の良港を持つ温泉津漁港には、約50隻の素潜り、かなぎ、一本釣などの漁船があり、40代を中心に20代から70代の組合員約170名が所属している。



“自衛隊から漁師へ”

高校卒業後、広島県呉市の海上自衛隊に配属し、昭和48年、実家のある温泉津町に戻った。

当時、実家で営んでいた鮮魚店を手伝う傍ら、「地元の漁業に魅力を感じた。」と漁船を購入。一本釣、遊漁船業を営み、その後、現在本業の素潜り漁を始め、9月から11月の禁漁期を除く、午前8時から12時までの1日4時間、水深20メートル近くまで潜って、漁を行っている。

素潜り漁について森田さんは、「他の漁業のように特別な設備や道具はいらず、伝馬船とウェットスーツがあればいい。しかも、潜って間近に漁場の様子がわか

“町を盛り上げる”

る。」と、昨年の1月には、アワビを200キロ近く水揚げした。しかし、海底の様子が一目瞭然であるため、サザエやアワビ以外にも磯焼けなどの異常な状況を目の当たりにすることが多くなり将来への不安が募る。」と漏らした。

地区の状況について、「全国的な漁獲量の減少は温泉津も例外ではない。特に、ひと昔前に比べてサザエが激減した。また、商人（仲買人）の購買力が低下したこと

えて合理化を図るか考え、地区の漁業者が一丸となつて所得の向上に努力しなければならない。」と話した。

また、「毎週日曜日には、鮮魚の模擬競り市を行っているが、温泉以外の観光による集客とともに、地元水産物のPRと消費拡大を図っていくことも必要。」と町を活性化させる取り組みについても考えられていた。

“海を守る植藻”

漁民の森づくり植樹活動をはじめ、平成12年から温泉津の海に木炭を沈めて浄化する活動などに積極的に取り組む森田さんは、「自然の大切さとともに海の汚染防止について訴え、一人一人が環境保

全への意識を高めていって欲しい。今後は、ヒトデやウニの食害による磯焼けを減らす方法として、海底に海藻の種(胞子)を集中的に付着させ海藻を繁殖させる、植樹ならぬ植藻」によって、豊かだった頃の海を取り戻したい。」と話した。

“趣味は働くこと”

「海から帰って、風呂上がり(酒を)一杯やり、横になる時が気持ちいい。でも次の日の準備や船の整備など、他にもやらなければいけないことがある。」と漁業以外においても地域の様々な活動に世話を焼く忙しさがまた、森田さんの健康の秘訣なのかもしれない。素潜り漁は、他の漁と比べて体



力が必要かと思っただが、森田さん曰く「体力より経験が大事。」と一言。趣味を聞くと「働くこと」と答える、たくましく、そして温泉津の町や人、自然への思いあふれる漁師であった。

当日、快く取材に応じていただいた森田氏にこの場を借りて御礼申し上げます。

浜の出来事

ワカメ養殖の体験教室

(益田支所)

去る11月21日、益田市土田漁港内において、小学生の児童らによるワカメ養殖の体験教室が開催された。ワカメの種糸をロープに巻き付けて準備を行うところから、海面に設置して収穫するまでを行う。

この体験教室を通じて、児童らに地元の漁業について知識を

深め、興味を持ってもらおうと、教職員はじめ地区の関係者や漁協の職員等で企画し、4年前から毎年開催されている。

その日の体験教室には、鎌手小学校6年生13名と来年度から統廃合の決まった種小学校の5・6年生6名、合わせて19名の児童が参加し、地元の漁業者とJF



しまね益田支所の職員らが指導にあたって、種糸をロープに巻き付ける準備作業を行った。将来、この教室から島根県の水産を担う人材が育つことを期待したい。



事業部だより

JFしまね購買部からのお知らせ

JFバッテリー 発売3周年記念

キャンペーン

JFブランド商品の中でも高い評価を得ているJFバッテリーシリーズの販売を開始してから、今年で3年目を迎えました。そこでJFグループでは、浜への定着と浜への感謝の気持ちを込め「JFバッテリー発売3周年記念キャンペーン」を実施しています。

期間中(平成18年12月1日から平成19年3月31日まで)、対象商品のいずれかをご購入いただいた方の中から、抽選で記念品をプレゼントいたします。専用の応募はがきに商品の説明書にあるナンバーの部分、2枚でご応募いただけます。

詳しくは、お近くのJFしまね各支所、出張所購買窓口にお尋ね下さい。



対象商品
JF130F51
JF155G51
JF210H52

4大特徴

- 容量UPで長寿命化を実現
- 防爆栓の採用により、安全性に配慮
- 船舶専用付属端子付き
- 船舶対応取扱い説明書を添付

JFしまね信用部からのお知らせ

貯蓄キャンペーン『もれなくUP』

JFマリンバンクしまねでは、合併記念といたしまして、貯蓄キャンペーン『もれなくUP』を平成18年12月1日から平成19年3月30日まで実施しております。

『もれなくUP』では期間中新たに10万円以上の定期貯金を1年以上お預けいただいたお客様にもれなく店頭金利に年0.1%上乗せした合併記念特別金利にてお預かりいたします。

また、新たに300万円以上、1年以上の定期貯金をお預けいただいた方には、もれなくもらえるプレゼントを用意しております。

是非、この機会にもれなくUPするプレゼントをお受取り下さい。

詳しくは、お近くのJFマリンバンクしまねの窓口までお尋ね下さい。

JFしまね合併記念

「もれなくUP」キャンペーン

取扱期間 2006年12月1日(金)～2007年3月30日(金)



期間中新たに10万円以上の定期貯金をご契約された方が対象です。

- ご貯金の種類
お預かり期間が1年以上の定期貯金。
- ご利用いただける方
個人の方および法人。
- お預け入れ金額
10万円以上とさせていただきます。

以上の条件を満たされた方に！

もれなく!!
金利がUP 店頭金利に年**0.1%**上乗せしたキャンペーン金利を適用いたします。

さらに!!
うれしさUP 「300万円以上で必ずもらえる」プレゼント

期間中、新たに300万円以上ご契約された方には、もれなく下記[A～Dコース]のいずれかをプレゼント!

[Aコース] 地元の鮮魚
[Bコース] 隠岐松葉がに (2007年1月10日～2月20日の期間限定)
[Cコース] あったかグッズ
①プチハロゲンヒーター
②ニューマイヤーアクリル毛布とタオルセット
③マイクロファイバー敷パッドとタオルセット

[Dコース] キャンペーン金利にさらに年**0.1%**の金利上乗せ。合計で店頭金利に年**0.2%**アップ。

「ほつと倶楽部」

～親睦旅行を開催～

平成十八年十月二十六日、二十七日の二日間、「なんばグランド花月と明石海峡ディナークルーズ」と題して平成十八年度ほつと倶楽部親睦旅行を開催し、県内各所から総勢六十二名のご参加をいただきました。

なんばグランド花月では大いに笑っていただき、ディナークルーズでは神戸の中華料理と夜景を存分に楽しんでいただけたのではないかと思います。

ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

JFマリンバンクしまねでは、今後とも会員の皆様にご喜んでもらえる企画や特典などを提供してまいりますのでご期待下さい。



明石海峡ディナークルーズにて

7月の参議院選挙に

オール水産代表として

まるいち よしのり

丸一芳訓氏を

推薦決定

「浜の力を結集しよう!!」

去る、10月4日に東京で開催された全国漁民大会において、来年7月の第21回参議院通常選挙の水産業界の全国比例区の推薦候補として、丸一芳訓・まるいちよしのり（前兵庫県漁連会長を推薦した。これを受け本組合においても同氏を全国比例区の候補者として推薦するとともに、「丸一よしのり島根県後援会」を立ち上げ、応援体制を整えます。組合員各位のご支援をよろしく願います。



「11月29日、自民党の安倍総裁から自民党の公認証の交付を受け、硬い握手をする丸一候補」

丸一よしのり 5つの約束

1 日本の水産を守ります！

輸入水産物があふれるなかで、燃油の高騰が続く、漁業の苦境がつづいています。生産者が自信と誇りを持って漁業を営めるよう、漁業経営を支えます。それぞれの漁業の特色を活かしつつ、水産物の自給力向上に取り組みます。

2 豊かな海の資源と環境を守ります！

わが国の200海里水域は、世界で6番目に広く、国土面積の11倍と広大です。資源を大切に利用し、水産食料をいつまでも供給しつづけることが私たちの水産関係者の使命です。かけがえない「海」の環境を守り、水産資源を育て増やします。

3 安全でおいしい水産物を食卓にとどけます！

魚食文化を世界に発信するとともに、旬(しゅん)のおいしさ、さかなや海藻の持つ栄養特性を活か

4 人にやさしい、美しく、災害に強い漁村をつくります！

した健康な社会をつくるため、青年・女性の参画をすすめる、生産者から加工・流通業まで、水産に関わるすべての人と協力して取り組みます。海岸の多くのゴミは美観をそこねるだけでなく、海洋生物に悪影響を与えます。大切な海を保全するために、「里海(さとつみ)」を守る多くの人たちと連携していきます。あわせて、災害に強く、美しい漁村の整備をすすめます。

5 将来に夢をつなぐ漁業・水産業をつくります！

海には限りないエネルギーと可能性があります。将来にわたって水産物供給を担う漁業を守るため、これからの漁業の担い手を育て、夢のある水産業を築きます。また、国際的な水産資源の持続的利用と資源の維持・管理に貢献していきます。

プロフィール

昭和26年(1951年)兵庫県淡路島に、漁師の五代目後継として生を受ける。
昭和48年 国士館大学法学部を卒業後、「外の水にあたってこい!」との父親の命で、兵庫県警に5年間務める。
昭和53年から、播磨灘でイカナゴ、バッチ網、冬はのり養殖で生計を立てる。
平成9年 育波浦漁協の組合長に、平成15年兵庫県漁連会長、全漁連理事に就任。平成16年からは瀬戸内海広域漁業調整委員会委員を務める。
現在、全漁連・兵庫県漁連の顧問。



『世の中のお値段』

580円の「もりそば」を食べた。古民家を改造した風情ある店で、休日に家内と二人、家内は「普通盛」私は「富士山盛」を頼んだ。「富士山盛」とは通常の3人前のことで、値段は同じ580円。その後のニューズ番組で、この店が紹介されていた。「ワンコインで食べられるランチ」という特集コーナー。なんと580円 500円に値下がりしていたのだ。そこで冷静に「儲け」を考えてみた。500円程度の蕎麦の原価率は25%、35%とするのが一般的。麺60円つゆ40円菜味(ネギ、のり、わさび)20円といったところか。「富士山盛」の麺は60円×3=180円となるのだから計算上「赤字」。ではどこで「儲け」するのか?答えは「天ぷら系」である。「もりそば」だけでは赤字だが、「天ぷら系」などのセットメニューなどで原価率を下げているのだ。通常、セットメニューと聞けばお客様に「お得感」があるものだが、なんと店側に「お得感」があったとは!!

商売には必ず「設け」の仕組みが存在する。近年急速な成長を見せるコンピュータソフトウェアの開発業界は、開発費用「開発人月で考えることが多く、当

然、利益は含まれ、極端な値引き交渉などがない限り、かなり儲かっているはず。

誰もが夢見る「儲け」の話。競輪・競馬・競艇・オートレースなどの公営ギャンブル年間売上は約7兆円にのぼるらしい。そのうち75%が払い戻し金額。法律で定められている率である。つまり残り25%が施行者のモノになる。これに対して宝くじの還元率は約45%、50%。つまり宝くじは公営ギャンブルに対して割の合わないギャンブルなのだ。私は「年末ジャンボ」「ロト6」と買い続け、当たれ、当たれ、と祈願しつつ社会貢献を続けている。・・・当たらないかなあ。

運送業はかなり厳しい「儲け」の仕組み。宅配業界では、全国翌日配達「が現実化しつつある。なのに「この金額でええ?」と思わず言ってしまう低料金が可能にしたのは、ドライバーの受け持ちエリアの細分化。当然、遠隔地への配達は赤字。人口・企業密集地で「儲け」を生んでいる。最近、黒いネコで有名な宅配業者が郵政民営化に対抗した「80円配達」をスタートしたが、そのカラクリもドライバー細分化配置にあり、東京都中央区銀座では、黒いネコ車が100メートル区画毎にきちんとハザードを出して止まっている。

(秀斎)

皆様からのひとこと随想をお待ちしております。

JFしまね Information

● 浜田海と山ふれあい市

「日時」平成19年3月3日から

12月29日まで

毎週土曜日

午前6:00から

「場所」JFしまね浜田支所

「内容」浜田漁港に水揚げされた鮮魚や地元産生鮮品の販売

「お問い合わせ」

JFしまね浜田支所総務課

(TEL)0855 22 3300

● 隠岐松葉ガニの販売について

「日時」平成19年2月中旬頃まで

午前10:00から

午後4:00まで

「場所」JFしまね本所

「内容」隠岐松葉ガニ(生、ポイル)の販売

「お問い合わせ」

JFしまね指導部

(TEL)0852 21 0001

● 「漁民の森づくり」植樹活動について

「漁民の森づくり」植樹活動を

2、3月、大社、浜田、浦郷各

地区で予定しています。なお植

樹に参加される漁業関係者やポ

ランティアの方を募集しま

す。

詳しくは、J

Fしまね指導

部まで



温かい真心に感謝

平成18年8月5日から平成19年1月1日までにご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚くお礼申し上げます。

【一般募金】

JFしまね松江魚市場

田中源一

【見舞返し】

第一灘富丸 森山 茂 (久手出張所)

【年末募金】

信用基金協会有志一同

島根県庁水代会

島根県漁船保険組合

島根県漁港漁場整備課

JFしまね本所・各支所

皆様からのご意見やご感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地

漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係

※E-MAIL: shidou@jf-shimane.or.jp または、

FAX: 0852-27-6130でもお寄せ下さい。

本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。

<JFしまねWEBサイト>

<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

編集後記

昨年夏頃に流行したプール熱。先月、息子2人が相次いで感染しました。寒さも深まり、今頃?と思いましたが一部で流行の兆しがあるようです。また、昨年末頃からは、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の患者が激増し、間もなくインフルエンザの季節も到来します。最近聞き慣れない病気も増えていますが、わが家では今のところ予防対策として、手洗い、うがいの徹底を心がけています。(R)